

# 小学校・第2学年・生活科・「みんなでつかう町のしせつ」①

## 活動のねらい

地域の公園で遊ぶことを通して、公園のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、公園にはみんなでする物があることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるようにするとともに、それらを大切に安全に気を付けて正しく遊ぼうとする。

1回目  
公園で遊ぶ

教室で振り返る

2回目  
公園で遊ぶ

教室で振り返る

## ICT端末活用のポイント

地域の公園で遊んだことを振り返る際に、ICT端末で公園の静止画や動画を視聴し、学習対象への興味や関心を高める。

## 事例の概要

本事例は、児童が地域の公園のよさや働きを捉えることができるように、第1回目に公園で遊んでいる様子を静止画や動画を活用して振り返ることで、もっと公園で遊びたいという思いや願いをもつためのICT端末の活用である。

第1回目に公園で遊んでいる様子を教師が静止画や動画で記録し、クラウド上に保存して、児童一人一人がICT端末で視聴できるようにする。その際、遊具や看板、利用している人々の様子を撮影することで、多くの人が利用しやすいようにするための利用方法やきまり、それらを支えている人々の存在に気付くようにする。

児童が「公園には楽しい遊具があるからまた行きたいな。」「お掃除している人とお話したよ。」などと、特徴を見付けたり、管理する人と触れ合いをもったりするようにした。

# 小学校・第2学年・生活科・「みんなでつかう町のしせつ」②

～ICT端末を使って、公園で遊んでいる静止画や動画を視聴～

## 【ICT端末で静止画や動画を選択】



## 【ICT端末の活用のメリット】

- 公園で遊んだことを振り返る際に、様々な静止画や動画を拡大したり繰り返し視聴したりすることをきっかけにして、公園の遊具の他に、掲示板や利用している人々、公園を管理している人などに目を向けることができ、学習対象を幅広く捉えることができる。
- 管理人が公園を掃除していたり、児童と話したりしている様子を視聴することで、児童が「いつも公園をきれいにして给我们の管理人さんにお礼をしよう」という思いや願いが生まれる。

## 【ICT端末で視聴】



## 【ICT端末の活用についての配慮事項】

- 低学年児童の特性として、人、社会、自然をつながりのあるものとして丸ごと捉えていく傾向があるので、ICT端末の活用においても自分との関係を大切にする。
- 生活科の特質として、身の回りのものや地域の施設の中から、みんなのものやみんなで使う施設等を実際に使ってみたり、そこにあるものやそこにいる人々と関わったりして思いや願いが膨らむので、ICT端末の活用においても同様にする。
- ICT端末の特質として、公共物や公共施設のよさや働きを静止画や動画で撮影し、表示・再生できる。

○ 活用したソフトや機能：学習支援ソフト（ファイル共有機能）